

青年教師時代を語る

小林 國雄

人 名 (敬称略。カッコ内は当時の役職)

事 項 (●は書籍・雑誌名)

一、「NHK高等学校講座」に關係していた時代 (昭和28年4月～33年3月)

(1) 春日由三 (日本放送協会 編成局長)

川上行蔵 (同 教育部長)

吉田行範 (同 教養課長)

片桐顕智 (同 文芸部長)

(2) 河西三省 (日本放送出版協会 取締役社長)

(3) ○初級国語講師 Ⅱ坂本 浩 (成城大学・お茶の水女子大学講師)

←

鳥山 榛名 (山梨大学教授)

○上級国語講師 Ⅱ増淵 恒吉 (東京都立日比谷高等学校教諭)

●『ラジオの聴き方』(昭和28・至文堂)

●『ラジオと国語教育』(昭和30・元々社)

○「NHK短歌会」結成に参加

●『ラジオテキスト』の編集

○テスト問題の作成

○添削指導のあり方

○教材化のお手伝い

○グループ学習の見学

○課題学習の活用

二、駒場東邦中学校・高等学校に勤めていた時代（昭和33年4月～59年3月）

(1) ○校 長 〓 菊地 龍道（昭和31～41）

←

高山 政雄（昭和42～56）

○ 副校長（教頭） 〓 清田 清（昭和32～37、講師として37～43）

○ 中学校主事 〓 志波 末吉（昭和33～39）

○ 教 諭 〓 武藤 辰男（昭和39～45、講師として45～46）

(2) 全日本国語教育協議会関係（昭和30～51）

○ 委員長（のち会長） 〓 渡辺 茂（東京都立第一女子高等学校校長）

○ 運 営 委 員 〓 飛田 隆（成蹊大学教授）

久米井 東（文学教育連盟委員長）

○ 研究調査部長 〓 増淵 恒吉（前出）

○ 「頭脳の資源化」

○ 校内公開授業——増淵恒吉の助言（承前起後の小段落）

○ 古典（古文）中心の夏期講習・冬期講習——増淵恒吉・橘誠

と共に。（昭和33・34）

○ 何回も飛入授業（寺田寅彦随筆集、小倉百人一首）

○ 国語教育への目ざめ

○ 漢文教育への目ざめ

● 『ハイティーン教育五十年』（昭和48・角川書店）

○ 「経験」と「経過」

○ 育英方式

● 『読解指導の過程』（昭和34・明治図書）

● 『中学校の読解指導』（昭和41・明治図書）

● 『国語教育とわたし』（昭和59・一光社）

● 月刊誌『国語教育』（昭和30創刊・六三書院、14集で休刊）

● 『全日本国語教育新聞』編集長

● 『国語科教材研究』（昭和46・有精堂）

(3) 文部省関係

① 大学入学資格検定試験問題作成委員（昭和38～41）

○ 視学官 倉澤 栄吉

○ 教科調査官 藤井 信男

渋谷 宗光

② 学習指導要領（高等学校国語）作成協力者会議委員（昭和43～49）

○ 視学官 林 大

○ 教科調査官 大矢 武師

瀬戸 仁

(4) 日本私学教育研究所関係

① 国語科専門委員（昭和39～56）

○ 委員長 人見 楠郎（昭和女子大学学長）

←

坂本 通（大東文化大学附属第一高等学校校長）

○ 委員 飛田 隆（前出）

吉原 弘（関東学院六浦中学・高等学校教諭）

多田 信也（昭和女子大学附属昭和中学・高等学校教諭）

※のち、委員の一部入れ替えおよび増員あり。

○ 森本元子（お茶の水女子大学附属高等学校教諭）・栗山亀蔵

（東京大学附属中学・高等学校教諭）ほかと中勘助『銀の

匙』輪読

○ 戦後の「学習指導要領」（小学校・中学校・高等学校）の通

読

○ 国語問題と国語教育

○ 「ケヤキ型」と「座布団型」

○ 研修会（毎年夏に一回）の企画・立案・実施・反省

● 『研究集録』（毎年一回）の刊行

○ 自主教科書作成の機運

● 協同研究『中等学校における漢字書写能力の調査』

〔参考〕 研修会（第2回～第19回）に招聘した講師（五十音順。算用数字は回数。

1は回数表記を省略）

石井庄司（東海大学教授）7 市古貞次（国文学研究資料館館長）

岩淵悦太郎（国立国語研究所所長）2 宇野義方（立教大学教授）

永曾信夫（桐朋学園大学短期大学部助教授）

大平浩哉（文部省教科調査官） 大矢武師（文部省教科調査官）6

北川冬彦（詩人） 北原一敏（東海大学教授）

木下順二（劇作家） 久米井東（前出）

倉澤栄吉（東京教育大学教授） 小海永二（横浜国立大学助教授）

小林一仁（文部省教科調査官） 渋谷宗光（大妻女子大学教授）

島田昌彦（文化庁国語課専門員） 高橋健二（ドイツ文学者）

時枝誠記（早稲田大学教授） 西尾實（法政大学名誉教授）

林大（文部省主任視学官） 原田種成（大東文化大学教授）

藤井信男（文部省教科調査官）2 古田東朔（東京大学教授）

増淵恒吉（東京都立航空工業高等専門学校教授）11

望月久貴（創価大学教授） 山岸徳平（東京教育大学名誉教授）

以上26名